



和泊町立大城小学校 学校だより

あくんちやらんど

校訓『負けじ魂』

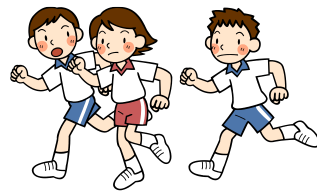
キャッチフレーズ「祖先の知恵を受け継ぐ大城小」

HP アドレス <https://www.town.wadamari.lg.jp/school/ohjiro-e> 令和7年12月22日No.8

成長した2学期！！

校長 根釜 恵理子

先週、2学期最後の行事、持久走大会を終え、24日に終業式を迎えます。盛りだくさんの行事があった2学期、行事を通して、子供たちは本当に大きく成長しました。持久走大会では、やりきった達成感を感じている子供たちと悔しい気持ちを感じている子供たちがいました。そういう気持ちを感じるのが行事の醍醐味でもあります。校訓「負けじ魂」の精神で最後まで走りきった子供たちは、本当に輝いていました。



12月に、子供たちと一緒に内城の「ぐすく」や大城の「あがり庵」を訪問しました。「ぐすく」では、高齢者のために工夫された施設設備について詳しく説明していただいたり、島ムニ自己紹介やえらぶの子守歌・稲すり節の発表をしたりしました。「あがり庵」では、着物の端切れなどを捨てずに活用しているというお話から、物を大事にすることを学びました。子供たちは、事前に質問を考え、訪問の中で、一生懸命メモをとっていました。このような地域にある施設やお店を訪問することも貴重な学びの一つです。行事や見学・体験等での学びは大きいですが、行事や見学・体験でしか学べないことも多いです。しかし、そのベースになっているのは、普段の教室での学習です。毎日毎日、コツコツと積み重ねた学習があるからこそ、行事や見学・体験での学びがさらに充実したものになります。これからも、毎日の学習をコツコツと積み重ね、行事や見学・体験でさらに学びを広げていってほしいと思います。

さて、もうすぐ年末年始を迎えます。年末年始ならではの家庭行事や地域行事もあることと思います。1年生の子供たちが、冬休みに頑張るお手伝い券をたくさん作っていました。お手伝いをたくさんして、笑顔あふれる冬休みにしてほしいと思います。



2学期、2025年も、地域の皆様、保護者の皆様の御協力誠にありがとうございました。3学期、2026年もどうぞよろしくお願いいたします。



創立127周年記念式典

＜児童代表の言葉＞

6年 芦原 花咲

大城小学校は、127年の長い歴史の中で、本当にたくさんの先輩方が学び、数多くの思い出と歴史を築き上げてきました。この長い年月には、創立に力を尽くされた方々や、これまで学校を支えてくださった多くの人々の努力、伝統、そして温かい思いが深く引き継がれてきています。私たち在校生は、この偉大な伝統の上に、日々の学校生活を送ることができていることに、心より感謝申し上げます。

大城小学校の最大の魅力は、郷土の文化や昔からの伝統を肌で感じ、体験できることです。私が毎年特に楽しみにしているのは米づくりと黒糖づくりです。準備は大変ですが、みんなと努力して活動できるのがとても楽しいです。そして出来上がった黒糖やもちつき大会のおもちは格別においしいです。なかなか経験することのできない貴重な体験ですが、地域の方々に丁寧に教えていただき、おいしいお米や黒糖を作る喜びを知ることができます。

私たちがこのように深く学び、体験することができるのも、伝統を絶やさず守り続けてきた先輩方、そして、いつも私たちを温かく支え、ご指導くださる地域の方々、保護者の皆さまのおかげです。本当にありがとうございます。

温かい大城小学校の友達、地域の方々、私はこれからも、こんな素敵な大城小学校であり続けてほしいと強く願っています。そのために、私たち6年生はこの学校を大切に思う気持ち、そして自分を支えてくれる人たちへの感謝の気持ちを私たちの後に続く下級生たちにもしっかりと伝えていきたいです。

私たち6年生は、あと4ヶ月で卒業します。大城小学校を離れるのはとてもさみしいです。しかし、この大城小学校で学んだことや、これまでの先輩方が築き上げてこられた「負けじ魂」の精神を大切に、残りの小学校生活を精一杯送ることを誓います。

大城小学校の更なる発展を心から願い、お祝いのことばといたします。



【芦原 花咲さん】



【創立記念式典の様子】



【島ムニ自己紹介1・2年】



【島ムニ自己紹介3・4年】



【島ムニ自己紹介5・6年】